

甲状腺がん

質問

検診で甲状腺にしこりがあると云われ、精密検査で甲状腺がんと診断されました。主治医から「手術を受けるか。それとも、このまま様子をみるか。どうしますか」と言われています。がんなのに放っておいても大丈夫ですか。



坪井 光弘
県立中央病院
外科副部長

回答

甲状腺がんにはいくつかの種類があり、そのうち最も高頻度に見られる種類の「乳頭がん」で、サイズが小さい場合は手術せずに定期検査で様子をみることも可能です。

甲状腺はのど仏のやや下方に位置する小さな臓器で、体の発育を促進し、新陳代謝を活性化するホルモンを分泌しています。甲状腺の検診ではエコー（超音波）が用いられますが、見つかるしこりの多くは手術が必要ない良性の物です。

エコー検診は1980年代に開始され、その後の機器の精度の向上に伴って小さな甲状腺がんを診断される患者が大幅に増加しました。しかし甲状腺がんの患者数が増えた一方、甲状腺がんによる死亡者数は増えずにそ

小さければ経過観察も



のままでした。この結果から、エコーで発見される小さな甲状腺がんは、寿命に与える影響がほとんどないかもしれないと考えられるようになりました。

2000年代半ばから、日本各地の病院で1センチ以下の小さな甲状腺がん（乳頭がん）に対して、

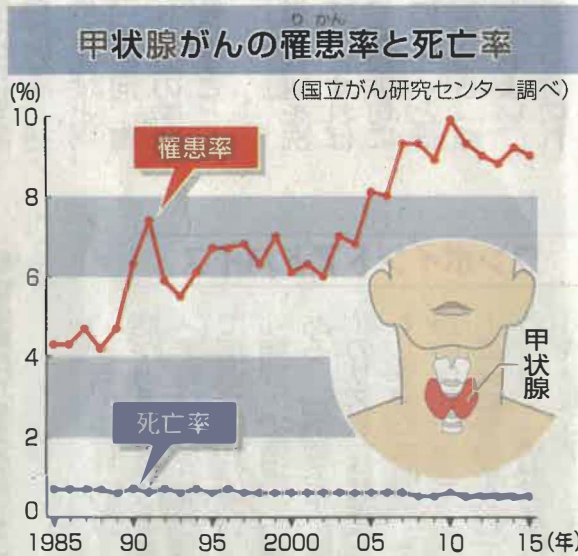
がん何でもクイズ

公民館や小学校を会場として検診車で受診する方法を何というか。

①集団検診②施設検診③個別検診

行こうよ！がん検診

手術をせずに様子を見る試みを実施されました。その結果、10年間でがんが大きくなったのは7.8%に過ぎないと分かりました。さらに、大きく



部位によっては要注意

がんが甲状腺近くの重要な神経や臓器に接している場合や周囲のリンパ節が腫れている場合、また、未成年の甲状腺がんなどに対しては、手術した方が良くとされています。しかし、これらの判断は難しいことが多く、まずは甲状腺がんの専門医の受診を勧めます。

手術を受ける場合でも、最近では内視鏡を用いて目立たない傷で手術することが可能な場合があります。病院で担当医に相談してください。

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前8時半から午後5時まで)